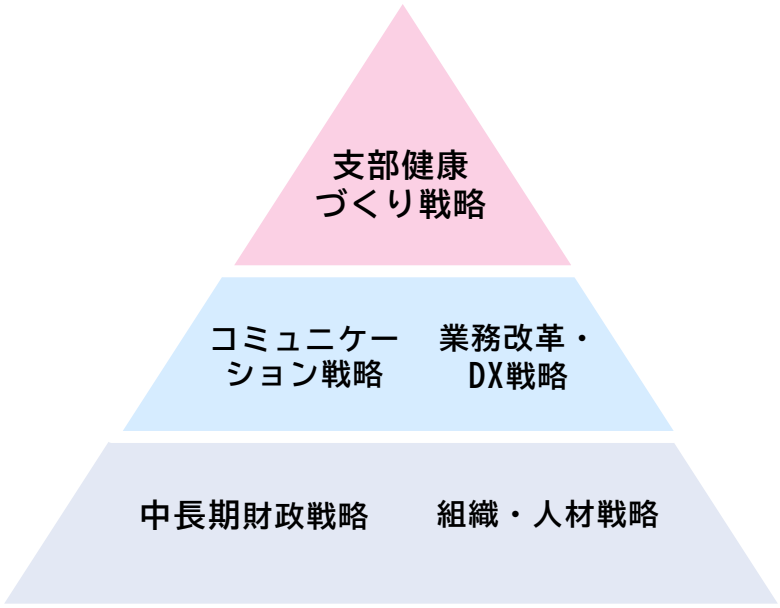
資料３　支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）（案）について

1. 支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）（案）の策定について

支部戦略プラン、支部健康づくり戦略の策定について

■　支部戦略プランは、**「支部健康づくり戦略」を基軸**とし、これを支える「コミュニケーション戦略」、「業務改革・ＤＸ戦略」、「中長期財政戦略」、「組織・人材戦略」の５つの戦略から構成し、中期戦略プラン（2027～2029（令和９～11）年度）をベースに、各支部の地域特性や健康課題を反映させた３年間の計画です。

■　静岡支部では、レセプトデータや健診データ等の分析結果や地域・職域特有の健康課題を課題シートに洗い出し、それを踏まえた対応方針を検討したうえで、今後３年間で重点的に取り組む支部健康づくり戦略（案）の「戦略目標」及び「戦略概要」を策定しました。



２．支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）（案）

（1）静岡支部　課題シート

健診データを基に洗い出した静岡支部の課題は以下のとおりです。

	課題
1	喫煙率が横ばい ・静岡男性：R5 39.2% → R6 39.2% → R7 38.9%　・静岡女性：R5 14.5% → R6 14.4% → R7 14.2% ・協会男性：R5 40.0% → R6 39.8% → R7 39.7%　・協会女性：R5 15.5% → R6 15.3% → R7 15.1%
2	男性のLDLコレステロール平均値が減少しているが、協会平均より高い ・静岡男性：R4 125.00mg/dl → R5 124.54mg/dl → R6 124.46mg/dl → R7 124.18mg/dl ・協会男性：R4 124.35mg/dl → R5 123.93mg/dl → R6 123.86mg/dl → R7 123.34mg/dl R7.4～R8.1月健診受診者で、一次勧奨対象者のうち、LDLコレステロールの値が180mg/dl以上のみ者の割合は、40.78%で、協会平均(38.52%）よりも2%以上高い（全国でワースト7位）
3	毎日1時間以上身体活動を行わないもしくは身体活動がない者の割合が、協会平均より高い ・静岡男性：R5 57.7% → R6 57.1% → R7 55.5%　・静岡女性：R5 62.5% → R6 61.5% → R7 60.4% ・協会男性：R5 57.3% → R6 55.8% → R7 54.4%　・協会女性：R5 60.4% → R6 58.8% → R7 57.7%
4	毎日飲酒する者が横ばい ・静岡男性：R5 30.8% → R6 32.7% → R7 31.1%　・静岡女性：R5 12.6% → R6 14.4% → R7 13.8% ・協会男性：R5 35.6% → R6 36.5% → R7 34.9%　・協会女性：R5 16.5% → R6 17.7% → R7 16.8% 毎日２合以上飲酒する者が増加傾向 ・静岡男性：R6 22.8% → R7 22.9%　・静岡女性：R6　7.3% → R7 7.5% ・協会男性：R6 22.4% → R7 22.6%　・協会女性：R6　7.7% → R7 7.9%
5	睡眠で休養が十分でない者が横ばい ・静岡男性：R5 35.6% → R6 36.2% → R7 36.0%　・静岡女性：R5 41.1% → R6 41.8% → R7 41.4% ・協会男性：R5 37.5% → R6 37.9% → R7 37.6%　・協会女性：R5 43.2% → R6 43.9% → R7 43.4%

（２）静岡支部　健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

静岡支部健康づくり戦略

Ⅰ）戦略目標

健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進を図るとともに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう取組を進めることにより、健康寿命の延伸を推進し、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図る。

特に、支部の「対策を進めるべき重大な疾患」としている脳・心血管疾患の割合を下げること、双方の主要な原因となりうる高血圧を改善するための取組を着実に行う。また、ジェネリック医薬品・バイオシミラーの使用促進に向けた取組を行い、医療費適正化も進める。

Ⅱ）戦略概要

静岡県の「健康増進計画」や「医療費適正化計画」との調和を図りつつ、支部策定の「第３期データヘルス計画」に基づき、加入者の健康の保持・増進に向けて、支部が所有する医療費・健診データ等の分析を進め、支部の現状・課題を把握し、健康課題の改善に向けた取組を進めていく。

また、支部が参画する様々な会議体においてデータを活用した積極的な意見発信を行い、関係団体や企業等と連携しながら健康づくりを推進していく。

けんぽアプリや様々な広報媒体を通じて健康づくりを推進するとともに、医療や健診、給付等のデータ分析を進め、地域・職域の特性を踏まえたポピュレーションアプローチを実施していく。

（２）静岡支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

［個人の特性に応じた支援］

・支部が保有する、医療や健診、給付等のデータを活用し、加入者の年齢・性別・地域等の特性に応じた事業を展開する。

・けんぽアプリやＬＩＮＥ等を活用し、生活習慣改善や血圧測定習慣化など有用な情報を配信することにより、加入者の健康意識の醸成を図る。

［健康経営の推進］

・静岡県と情報連携している「ふじのくに健康宣言」事業所の拡大と宣言事業所に対するフォローアップを実施する。

・健康づくりのキーパーソンとなる事業主等への働きかけを推進するとともに、事業所自らがヘルスリテラシーを身につけ、自発的に健康経営に取り組めるようなフォローアップを実施する。

（２）静岡支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

［健診の拡充］

・被保険者に対する若年者への健診や人間ドック健診、被扶養者に対する健診拡充等の定着に向けた取組を進め、実施率の向上を図る。

　また、生活習慣病予防健診・人間ドック健診受託機関の拡充を進めることや、事業所規模・地域等の特性を踏まえた集団健診等の事業を展開することにより、加入者の利便性の向上とともに実施率の向上を図る。

・事業者健診を利用している事業所について、生活習慣病予防健診への切り替えを促進する。

［特定保健指導の量・質の向上］

・健診機関と連携し、健診当日の特定保健指導利用機会の拡大等の取組を推進するとともに、実施率の向上を図るため、人間ドック健診受託機関をはじめとする受託機関による特定保健指導実施を推進するためのフォローアップを実施する。

・特定保健指導の質の向上を図るため、効果的で確実な保健師及び管理栄養士の育成に取り組む。また、受託機関と連携し、好事例の横展開を実施する。

（２）静岡支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

［重症化予防の拡充］

・健診機関と連携し、健診当日の未治療者への受診勧奨を実施する。また、文書と電話による二次勧奨を実施する。

・県内の各自治体と連携し、自治体の「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に則った未治療者への受診勧奨を実施する。

［ヘルスリテラシーの向上］

・けんぽアプリやＬＩＮＥ等、様々な広報媒体を活用し、支部の課題となっている喫煙、運動、睡眠、飲酒等についてポピュレーションアプローチを実施することにより、健康意識の醸成を図る。

・他団体等との連携を通じて、健診受診勧奨、特定保健指導実施勧奨や情報発信を行うことにより、事業所のヘルスリテラシー向上を図る。

・健康保険委員との連携を通じて、有用な情報提供を実施することにより、事業所の健康意識の醸成を図る。

・血圧手帳の普及により、自宅等での日常的な血圧測定に対する、加入者の意識向上を図る。

・こども健康教育を実施し、学齢期からの健康意識の醸成を図る。

（２）静岡支部　健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

［医療提供体制の確保・充実に向けた取組］

地域医療構想や医師確保計画等の策定や取組の推進に積極的に参画していく。
　また、地域の現状や課題を把握し、病床機能の分化や医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化、医療・介護連携の推進、医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、地域における効果的、効率的な医療提供体制の構築に向けて保険者に期待される役割を果たしていく。

［医療費の適正化］

・加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう、協会が保有する医療や健診、給付等の分析を進め、医療費の適正化に資する取組を進める。

・バイオシミラーについては、データ分析に基づく医療機関への働きかけを通じて使用促進を図る。
　また、地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や他地域の取組状況に関する情報提供等、地域の医療関係者と連携を図る。さらに、OTC類似薬の薬剤自己負担の見直しを踏まえ、セルフメディケーションの推進に努める。